



みやぎ 2025

第
48
回

全 国 育 樹 祭

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

実施計画書

(案)

目次

第1章 開催計画

1	全国育樹祭の目的	3
2	宮城県での開催状況	3
3	開催方針	4
4	大会テーマ	6
5	大会シンボルマーク	6
6	大会ポスター（原画）	6
7	開催概要	7
8	開催場所	10

第2章 お手入れ行事計画

1	基本的な考え方	11
2	お手入れ行事の概要	11
3	会場整備・設営	14
4	記念育樹活動等	16

第3章 式典行事計画

1	基本的な考え方	17
2	式典行事の概要	17
3	アトラクションの概要	19
4	会場設営	20
5	おもてなし広場	24

第4章 懇談会計画

1	基本的な考え方	25
2	懇談会（歓迎レセプション）の概要	25

第5章 併催行事計画

1	育林交流集会	26
2	全国緑の少年団活動発表大会	27

目次

第6章 記念行事計画

1 森林・林業・環境機械展示実演会	28
2 その他の記念行事（開催実績）	29

第7章 運営計画

1 基本的な考え方	31
2 実施本部設置計画	31
3 参加者行動計画	36
4 受付計画	38
5 警備計画	38
6 消防・防災計画	39
7 救護・衛生計画	39
8 緊急対応計画	40
9 雨天時・荒天時対応計画	41

第8章 広報・協賛計画

1 広報計画	42
2 協賛計画	42

第9章 開催準備計画

1 リハーサル計画（お手入れ行事）	43
2 リハーサル計画（式典行事）	44
3 開催スケジュール	45

※ 本書は作成時点の計画であり、今後の調整により変更する場合があります。

1. 全国育樹祭の目的

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に、昭和52年から、全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、毎年秋季に行われている国民的な緑の祭典です。

この祭典では、全国植樹祭において、天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされるシンボリック的行事に加え、参加者による育樹活動、皇族殿下によるおことばや各種表彰等による式典行事等を通じ、健全で活力ある森林を育て、次世代に引き継ぐこと大切さを伝えていきます。

2. 宮城県での開催状況

本県では、昭和30年に「第6回全国植樹祭」及び平成9年に「第48回全国植樹祭」が開催されています。全国育樹祭は、令和7年が初めての開催です。

第6回全国植樹祭（昭和30年）

昭和30年4月6日に大衡村平林地区において、天皇皇后両陛下をお迎えして開催しました。「林種転換拡大造林」をテーマに、アカマツのお手植えや参加者による記念植樹などが行われました。

【開催概要】

テーマ：林種転換拡大造林
開催日：昭和30年4月6日
会場：宮城県黒川郡大衡村



第48回全国植樹祭（平成9年）

平成9年5月18日に白石市（国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場）において、天皇皇后両陛下をお迎えして開催しました。「森づくり大地に託す夢・未来」をテーマに、ブナやオオヤマザクラのお手植えや参加者による記念植樹などが行われました。

【開催概要】

テーマ：森づくり大地に託す夢・未来
開催日：平成9年5月18日
会場：宮城県白石市



3. 開催方針

先人の努力により、守り育てられてきた森林を次世代へつないでいくためには、「木を使い・植え・育てる」循環利用の推進が重要です。

本県では、この森林の循環利用を進めるため、宮城伝統こけしや矢羽木工品などの地域に根差した木工品や受け継がれてきた木の文化などの継承に加え、CLTやFSC認証材・県産広葉樹の活用などの新たな木材利用の取組も進めております。

また、令和4年度には、林業関係団体と行政で構成される、みやぎ森林・林業未来創造機構により、みやぎ森林・林業未来創造カレッジが開校され、官民一丸となって林業の担い手確保・育成に取り組んでおります。

さらに、沿岸部では、平成23年に発災した東日本大震災により、海岸防災林が壊滅的な被害を受けましたが、県内外の多くの皆様から御支援・御協力をいただき、震災から10年の歳月を経て令和3年に植栽が完了しました。

現在は、復旧した海岸防災林を守り育てるため、産学官連携のもと、積極的に保全活動を展開するとともに、海岸防災林の保育作業体験を通じて、震災の教訓伝承にも取り組んでおります。

こうした背景のもと、持続可能な森林づくりや森と海のつながりなどを国民・県民の皆様にも再認識いただくとともに、震災の教訓を広く伝承し、健全で活力ある森林を次世代へつないでいくため、「持続可能な森林づくりの継承」、「伝統と新技術による木材利用の発信」、「震災の教訓の伝承と新たな価値の創造」の3つの柱に、第48回全国育樹祭を開催します。

<宮城県のこれまでの開催>

第6回（昭和30年）大衡村 【大会テーマ】 林種転換拡大造林

第48回（平成9年）白石市 【大会テーマ】 森づくり大地に託す 夢・未来

第48回全国育樹祭（令和7年）

大会テーマ

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

本大会の3つの柱

1. 持続可能な森林づくりの継承

- 「木を使い・植え・育てる」循環の大切さを伝える
- 「森と海のつながり」の大切さの理解を広げる
- 健全で活力ある森林を次世代へと引き継ぐ



2. 伝統と新技術による木材利用の発信

- 地域に根差した木の文化や新しい木材利用の取組を発信



3. 震災の教訓の伝承と新たな価値の創造

- 東日本大震災から復旧した海岸防災林を通じて震災の教訓を後世に伝える
- 海岸防災林が人々が集い、親しまれる場となるきっかけとする



「木を使い・植え・育てる」循環を世代をつないで共有する“みどりのかけ橋”として大会を展開。

宮城の木を使う伝統や新しい技術を紹介し、東日本大震災の経験を伝えながら、持続可能な社会の実現を支える森林づくりの精神と活動を県内外に広げていく大会とします。

循環型
森林づくりへの理解

世代をつなぐ
幅広い県民の参加

震災の教訓を
森林づくりへ活かす

伝統と新技術で
木材利用の
新しい価値を創造

4. 大会テーマ

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

- 作者 ふくしま すすむ 福島 進 さん（埼玉県本庄市在住）
- 説明 森をキーワードに、次の世代につなぐかけ橋をアピール

5. 大会シンボルマーク



- 作者 はま ちひろ 濱 千尋 さん（宮城県仙台市在住）
- 説明 緑を育て守る様子をキャラクターで表現しました。足は土、手は水をイメージしています。

ひらがなの「み」を使って親しみやすいユニークな表情にしました。

「み」には、宮城のほか、みどり、みんな、未来など育樹祭開催に向けた思いを込めています。

6. 大会ポスター（原画）



- 作者 のがみ あいか 野上 愛馨 さん
（宮城教育大学附属小学校2年【令和5年度当時】）
- 画題 『植樹をしたよ』
- 説明 植樹に参加したときの絵をかきました。

7. 開催概要

(1) 全国育樹祭行事

主 催 宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構

【お手入れ行事】

開催日 令和7年10月4日（土）

会 場 国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場
（白石市福岡深谷字白萩山39）

参加者 約300人

内 容 皇族殿下による天皇皇后両陛下お手植え樹木のお手入れ

【式典行事】

開催日 令和7年10月5日（日）

会 場 宮城県総合運動公園（グランディ・21）
セキスイハイムスーパーアリーナ
（宮城郡利府町菅谷字館40-1）

参加者 約5,000人

内 容 皇族殿下のおことば、緑化功労者等の表彰、緑の少年団活動の発表、
メインテーマアトラクション、大会宣言など

【懇談会（歓迎レセプション）】

開催日 令和7年10月4日（土）

会 場 宮城県内ホテル（未定）

参加者 約300人

内 容 皇族殿下の御臨席を仰ぎ、緑化功労者等を招待して開催

(2) 併催行事

【育林交流集会】

主 催	宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構
開 催 日	令和 7 年 1 0 月 4 日 (土)
会 場	名取市文化会館 (名取市増田字柳田 5 2 0)
参 加 者	約 3 0 0 人
内 容	県内外の林業・木材産業の関係者や、次代を担う学生などが参加し、森林・林業が直面する課題等をテーマに行う講演など

【全国緑の少年団活動発表大会】

主 催	宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構
開 催 日	令和 7 年 1 0 月 4 日 (土)
会 場	活動発表大会：白石市文化体育活動センター ホワイトキューブ (白石市鷹巣東 2 - 1 - 1) 交 流 集 会：宮城県総合運動公園 (グランディ・2 1) リフレッシュプラザ (宮城郡利府町菅谷字館 4 0 - 1)
参 加 者	活動発表大会：約 3 0 0 人 交 流 集 会：約 1 5 0 人
内 容	県内外から選出された緑の少年団による日頃の活動発表による相互研鑽や団員同士の交流

(3) 記念行事

【森林・林業・環境機械展示実演会】

主 催	宮城県、一般社団法人林業機械化協会
開 催 日	令和 7 年 1 0 月 5 日 (日)、6 日 (月)
会 場	仙台塩釜港 (石巻港区) 雲雀野地区 (石巻市雲雀野町二丁目 1 5 - 3 外)
参 加 者	約 2 0, 0 0 0 人
内 容	充実する国内の森林資源の活用に欠かせない高性能林業機械や、日進月歩で技術が進み活用が期待される情報関連機器等、森林林業、木材産業の効率化・高度化に資する関連メーカー等が最新技術を展示実演

(4) その他の記念行事（開催実績）

【『昭和万葉の森』植樹祭 2024】

主 催	宮城県、公益社団法人宮城県緑化推進委員会
開 催 日	令和6年11月9日（土）
会 場	昭和万葉の森 （黒川郡大衡村大衡字平林117）
参加者	442人
内 容	昭和30年に県内で初めて全国植樹祭を行った会場で、 昭和天皇・香淳皇后がお手植えされたアカマツ由来の苗木を 利用し、県民参加型の植樹祭を実施

【国民参加の森林づくりシンポジウム】

主 催	宮城県、公益財団法人森林文化協会、 公益社団法人国土緑化推進機構、株式会社朝日新聞社
開 催 日	令和6年11月16日（土）
会 場	東北大学百周年記念会館 川内萩ホール （仙台市青葉区川内40）
参加者	318人
内 容	基調講演、パネルディスカッション等

【宮城県みどりの少年団活動発表大会】

主 催	宮城県、公益社団法人宮城県緑化推進委員会
開 催 日	令和7年2月8日（土）
会 場	白石市文化体育活動センター ホワイトキューブ （白石市鷹巣東2-1-1）
参加者	168人
内 容	県内みどりの少年団による活動発表

8. 開催場所



全国緑の少年団交流集会

宮城県総合運動公園（グランディ・21）
リフレッシュプラザ

育林交流集会

名取市文化会館

お手入れ行事

国立花山青少年自然の家
南蔵王野営場

森林・林業・環境機械展示実演会

仙台塩釜港（石巻港区）雲雀野地区

式典行事

宮城県総合運動公園（グランディ・21）
セキスイハイムスーパーアリーナ

全国緑の少年団活動発表大会

白石市文化体育活動センター
ホワイトキューブ

- 全国育樹祭行事
- 併催・記念行事

令和6年度	令和7年度		
	10月4日（土）	10月5日（日）	10月6日（月）
『昭和万葉の森』 植樹祭2024	お手入れ行事	式典行事	
国民参加の森林づくり シンポジウム	懇談会 （歓迎レセプション）		
宮城県みどりの少年団 活動発表大会	全国緑の少年団 活動発表大会	森林・林業・環境機械展示実演会	
	育林交流集会		

1. 基本的な考え方

第48回全国植樹祭（平成9年開催）において、天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木（ブナ、オオヤマザクラ）を、皇族殿下がお手入れされるという育樹の実践を通して「継続して森を守り育てることの大切さ」を全国に広めます。

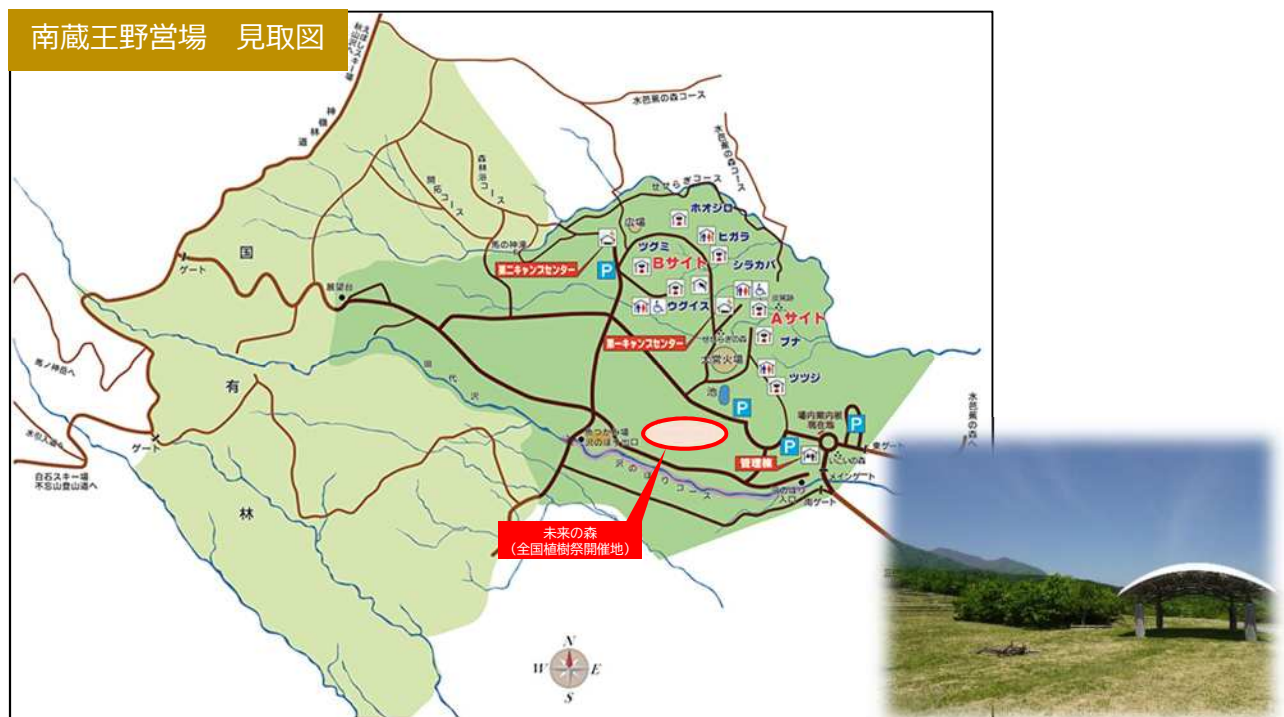
2. お手入れ行事の概要

(1) 開催日

令和7年10月4日（土）

(2) 会場

国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場
（白石市福岡深谷字白萩山39）



南蔵王野営場は、宮城県西南部の蔵王国定公園内に位置し、登山口にもほど近く、自然の美しさ、厳しさを満喫できます。自然の中でのキャンプ生活を通じ、青少年の健全な育成を図るための施設です。

平成9年「第48回全国植樹祭」において、天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木の周辺は、「未来の森」と命名され、森林の大切さを今に伝えています。

(3) 参加者

約300人

中央推薦、県知事推薦、白石市長推薦、県内林業関係団体等

(4) 次第

次第	行事概要
記念育樹活動等	
参加者による育樹活動	会場内の樹木に施肥及び記念撮影 介添え：県内みどりの少年団等
アトラクション	県内にゆかりのある方による演奏で参加者を歓迎します
お手入れ行事	
皇族殿下御着	先 導：宮城県知事 御出迎え：大会会長（参議院議長）、(公社)国土緑化推進機構理事長
パネル展示御覧	説 明：県内みどりの少年団 第 4 8 回全国植樹祭（平成 9 年）の様子、お手植え樹木の育成状況等
お手入れ	皇族殿下による、天皇皇后両陛下のお手植え樹木への施肥等 介 添 え：県内みどりの少年団、県内高校生
皇族殿下御発	先 導：宮城県知事 御見送り：大会会長（参議院議長）、(公社)国土緑化推進機構理事長

(5) お手入れ内容

① お手入れ対象樹木

樹種：ブナ、オオヤマザクラ

樹齢：28年（令和7年3月時点）



② お手入れ作業

皇族殿下による施肥等



■秋篠宮皇嗣殿下によるお手入れ（枝打ち）
第46回全国育樹祭・茨城大会



■秋篠宮皇嗣妃殿下によるお手入れ（施肥）
第46回全国育樹祭・茨城大会

③ お手入れ道具

手鋸、肥料入れ、鍬、

お手入れ道具には、県産木材を積極的に活用します。



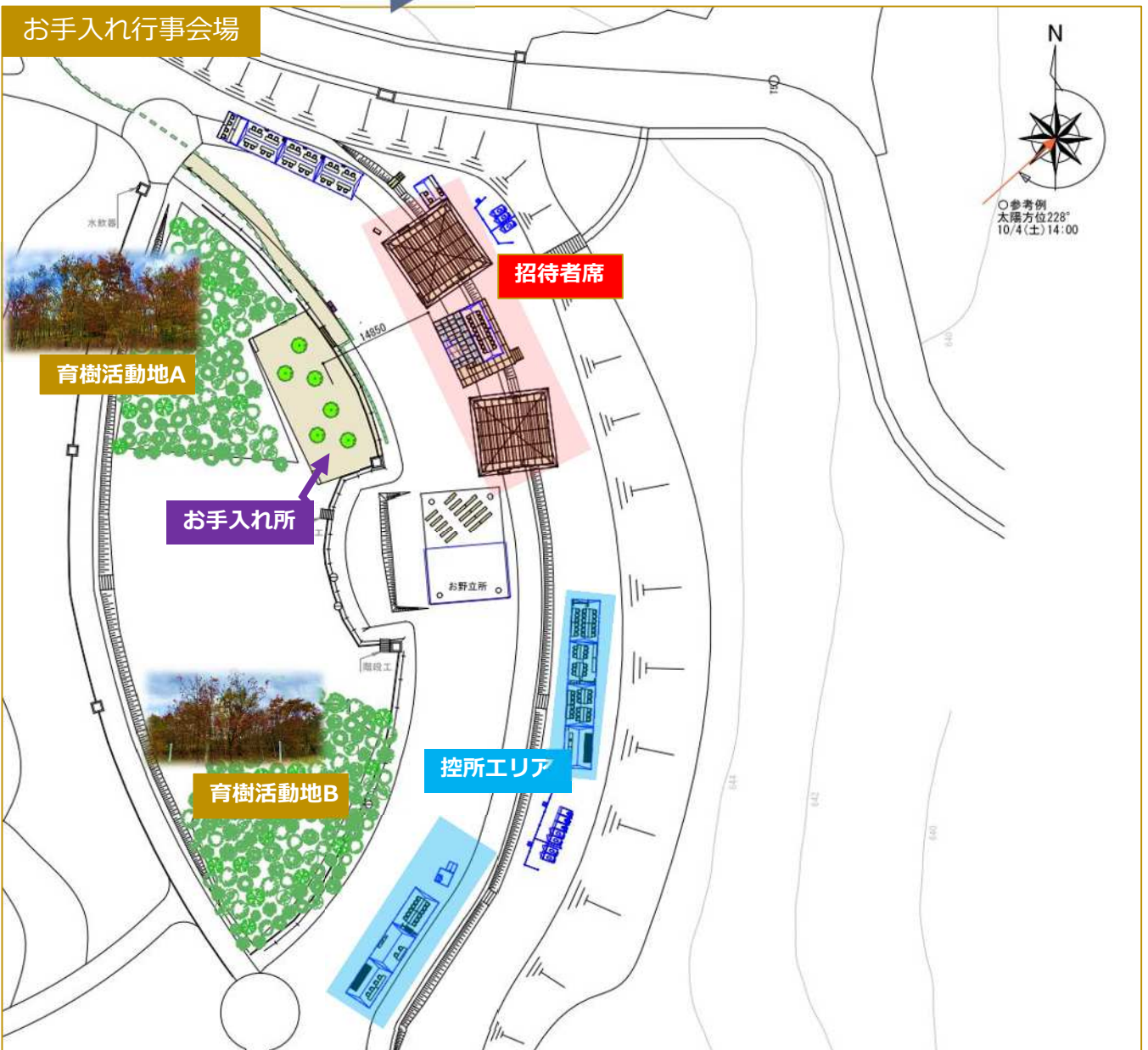
第 4 7 回全国育樹祭 お手入れ道具▶

(6) お手入れ行事会場レイアウト案

南蔵王野営場広域図



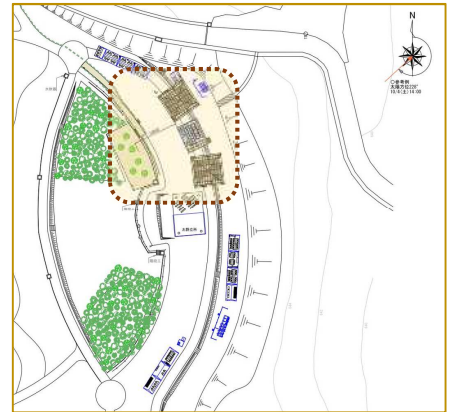
お手入れ行事会場



3. 会場整備・設営

(1) 会場概要

会場となる国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場は、蔵王国定公園内に位置することから、円滑な運営に必要な会場整備や仮設物等の設置は必要最小限度にとどめ、周辺の景観に影響を与えぬよう十分配慮します。



【お手入れ行事会場イメージ】



(2) 会場整備

① 通路等

参加者が安全に移動できるよう、通路や木製階段等の改修整備を行います。

② 育樹活動地

参加者が安全に施肥等を行えるよう育樹活動地を整備します。

(3) 会場設営

【主要な仮設物等の設置計画】

① 仮設テントの設置

参加者席は、大型テントを設置し快適な会場づくりに努め、テントなどの仮設施設は、必要最小限にとどめ、適切な規模（数、大きさ）とします。

② 金属探知機の設置

安全を確保するため、警戒エリアを設定します。また、会場内のセキュリティを確保するため、金属探知機による入場管理を徹底します。

③ 会場装飾

会場を彩り、動線を確保するため県内産の飾花で装飾します。

また、会場に設置する木製プランターと木製ベンチは、行事終了後、公共施設等で活用することで、全国育樹祭の理念を県民に伝えます。

④ 案内誘導サイン

参加者が安全かつ円滑にお手入れ行事に参加することができるよう案内誘導サインを設置します。

⑤ 給排水設備

- ・ 湯茶接待コーナー
湯茶接待コーナーを設置し、湯茶等の提供を行います。
- ・ 仮設トイレ
会場内で使用するトイレを仮設で設置します。

⑥ 電気設備

会場内で使用する電気設備については、環境にも配慮し、FCVを活用した計画とします。

4. 記念育樹活動 等

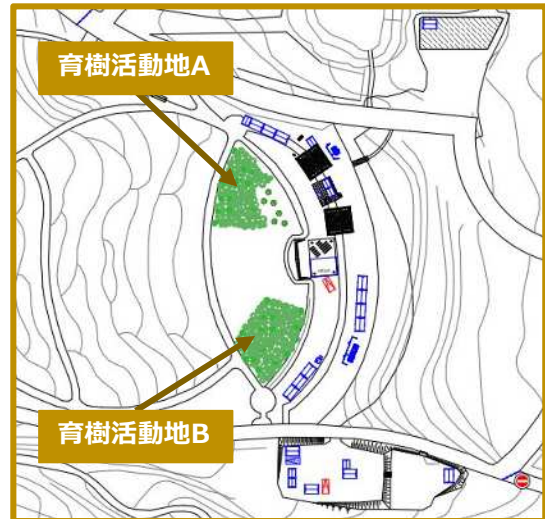
(1) 育樹活動

① 育樹概要

お手入れ行事開始前に、参加者による施肥を通じて、育樹の大切さを県民はもとより広く全国に発信します。

② 育樹活動地区分

- ・ 特別待遇者
育樹活動地Aで施肥を実施します。
- ・ 上記以外
育樹活動地Bで施肥を実施します。



③ 育樹道具

- ・ 参加者には、手袋、肥料、スコップ、おしぼりを用意します。
- ・ 肥料は、資源の循環利用を考慮し、県内で製造しているものを活用します。
- ・ 肥料袋は、生分解性の袋を使用します。

④ 育樹方法

- ・ 樹木1本当たり5か所程度の肥料を施し、1人1か所の穴に肥料を入れます。
- ・ みどりの少年団等が介添えを行います。

(2) アトラクション演出

お手入れ行事開始前にアトラクションで参加者を歓迎します。

1. 基本的な考え方

全国育樹祭の開催方針に基づき、大会テーマである「次世代へ みどりのかけ橋 森づくり」を象徴的に表現し、宮城県らしい緑の祭典となるよう演出します。

2. 式典行事の概要

(1) 開催日

令和 7 年 10 月 5 日 (日)

(2) 会場

宮城県総合運動公園 (グランディ・21) セキスイハイムスーパーアリーナ
(宮城県利府町菅谷字館 40-1)



建物外観



メインアリーナ



サブアリーナ

バスケットボール・バレーボール等の室内競技大会やコンサート・イベントに対応できるメインアリーナとトレーニング等の機能を備えたサブアリーナからなり、様々な用途に対応可能な東北最大の施設です。外観は2枚の葉っぱをもたれかけさせた形状で、柔らかくスムーズなフォルムを表現し、周囲との景観の調和を図っています。

(3) 参加者

約 5,000 人

区分	人数	備考
県外参加者	約 1,500 人	中央推薦、各都道府県推薦等
県内参加者	約 2,000 人	実行委員会会長選考、市町村推薦、一般公募等
出演者・運営スタッフ等	約 1,500 人	
合計	約 5,000 人	

第 3 章 式典行事計画

(4) 次第

次第	行事概要
■プロローグ	
オープニングアクト	県内の高校生（音楽隊）による演奏で参加者を歓迎します
宮城県紹介映像	宮城県の魅力ある観光地、名所及び復興の様子等を紹介します
オープニングアトラクション	県内の高校生によるパフォーマンスで参加者を歓迎します
お手入れ行事紹介映像	前日に開催したお手入れ行事の様子を紹介します
奉迎準備	インターバル
■式典	
皇族殿下御着	先 導：宮城県知事 御出迎え：大会会長（参議院議長）、（公社）国土緑化推進機構理事長 先行後従：県内みどりの少年団
開会のことば	（公社）国土緑化推進機構副理事長
三旗入場・緑の少年団入場	県内みどりの少年団
国歌独唱	国歌独唱：県内の音楽科の学生による独唱
主催者挨拶	大会会長（参議院議長）、宮城県知事
歓迎のことば	宮城県議会議長
皇族殿下のおことば	皇族殿下
表彰	緑化功労者等へ感謝状等を贈呈 贈呈者：大会会長（参議院議長）、農林水産大臣、 （公社）国土緑化推進機構理事長、宮城県知事
緑の贈呈	全国緑の少年団活動発表大会の発表団へ苗木を贈呈
緑の少年団活動発表	代表緑の少年団の活動発表
メインテーマアトラクション	～森と海と人の物語～ 宮城県の海岸防災林や森林・林業の歴史に触れながら、森と海を守る人々の活動を紹介します。また、東日本大震災を乗り越え、今と未来をつないでいく人々の想いを県内の中学生を中心に歌で表現します
大会宣言	（公社）国土緑化推進機構理事長
次期開催県挨拶	和歌山県知事
閉会のことば	利府町長
皇族殿下御発	先 導：宮城県知事 御見送り：大会会長（参議院議長）、（公社）国土緑化推進機構理事長
■エピローグ	
エンディングアトラクション	県内在住のミュージシャンにより、参加者全ての皆様に感謝の気持ちを込めたパフォーマンスを披露します

3. アトラクションの概要

演出テーマ

“森と海と人”の物語



鳴子峡



松島湾



海岸防災林



緑の少年団



林業従事者

■プロローグ ～オープニングトーク、映像プログラム、ライブパフォーマンス～

- 音楽隊による歓迎演奏とともに開会を告知。宮城県の魅力ある観光地、名所や各所の復興の様子を映像とナレーションで紹介。
- 高校生のライブパフォーマンスによる歓迎ステージののち、前日に行われたお手入れ行事の様子を映像で紹介。

■メインテーマアトラクション

序	<h3>「物語の始まり」</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●語り部が登場し、1600年から始まった海岸砂地地帯への植林の様子等を語り、未来を担う子どもたちへの伝承を願う。
第一景	<h3>「宮城の海岸防災林」</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●海岸防災林の歴史 語り部が子どもたちに宮城県の海岸防災林の歴史について語る。 ●海岸防災林を守る人々 子どもたちが様々な団体を訪問し、それぞれの取組や思いを映像で紹介。
第二景	<h3>「宮城の森林・林業」</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●森林・林業の役割 子どもたちが、森林資源の循環～木を伐る・使う・植える・育てる～の大切さを紹介。 ●宮城県森林・林業を守る人々 子どもたちによる様々な団体へのインタビュー映像を紹介。仕事の内容、やりがい等、担い手たちの声を届ける。
第三景	<h3>「未来への架け橋」</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●地元の中学生登場 多数の地元中学生や出演者が、ステージに登場。 ●「花は咲く」の大合唱 東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」を全員で大合唱。

■エピローグ ～ファイナルステージ～

- 県内在住のミュージシャンによるライブステージ。

4. 会場設営

(1) 会場概要

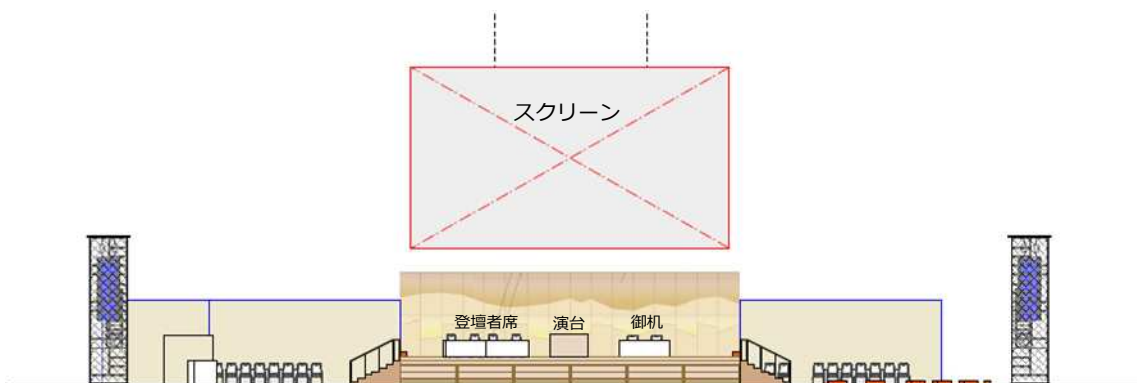
会場の設営に当たっては、効果的な演出が得られるよう必要最小限の仮設物を設置するとともに、施設内外装の景観・環境に十分配慮し、県産木材を使用した安全で快適な会場づくりに努めます。

【式典行事会場イメージ】

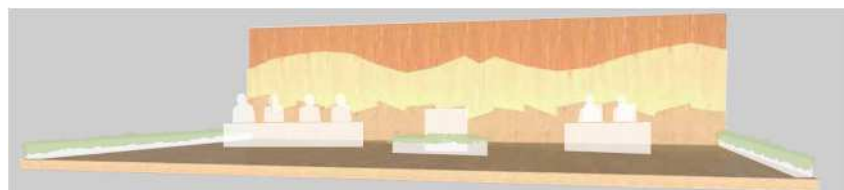


【式典ステージ立面図】

ステージ背面には県産木材を使用したバックパネルを配置し、宮城県の南北に連なる奥羽山脈を表現し、宮城らしさを感じさせる作りとします。



【バックパネルイメージ】



(2) 主要な仮設物等の設置計画

① 案内所・案内誘導サイン計画

案内所を設置するとともに、参加者を入場から着席まで円滑に誘導し、おもてなしコーナーやトイレなど会場の配置を把握するための案内誘導サインを設置します。

② トイレ・給排水設備計画

トイレは基本的に会場設備を利用し、不足が見込まれる分を仮設で設置します。

③ 映像システムの設置

参加者席から、登壇者及びアトラクション風景や記録映像を見やすくするため、大型スクリーンを設置します。

④ 音響・照明装置の設置

参加者に、式典行事のダイナミックな演出を体感していただくため、会場内の全席へ均一に音を届ける音響装置や照明装置を設置します。

⑤ 電気設備計画

電気は式典行事自体の運営、進行に支障を来すことのないよう、必要な仮設のバックアップ電源を確保して十分な対策を講じるとともに、環境にも十分配慮した計画とします。

電線は、なるべく人の通らないところに配線し、通路を横断せざるを得ない場合は養生を行い、安全に配慮します。

⑥ その他の仮設物

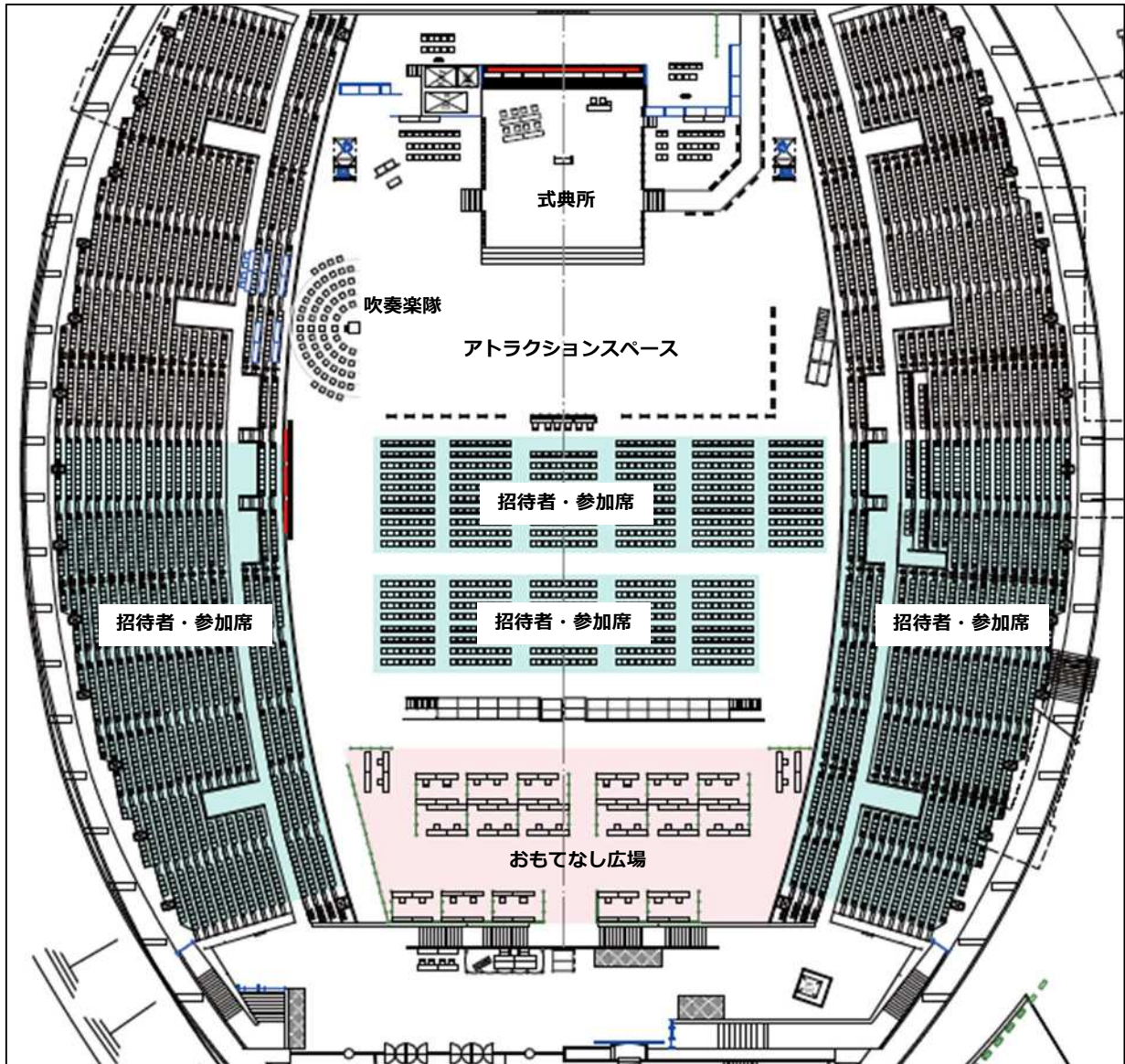
椅子などの施設備品や、屋外に設置するテントなど汎用性が高くリース可能な仮設物は、経済性を考慮して、原則、既製品を使用します。

(3) 安全性・機能性・効率性への配慮

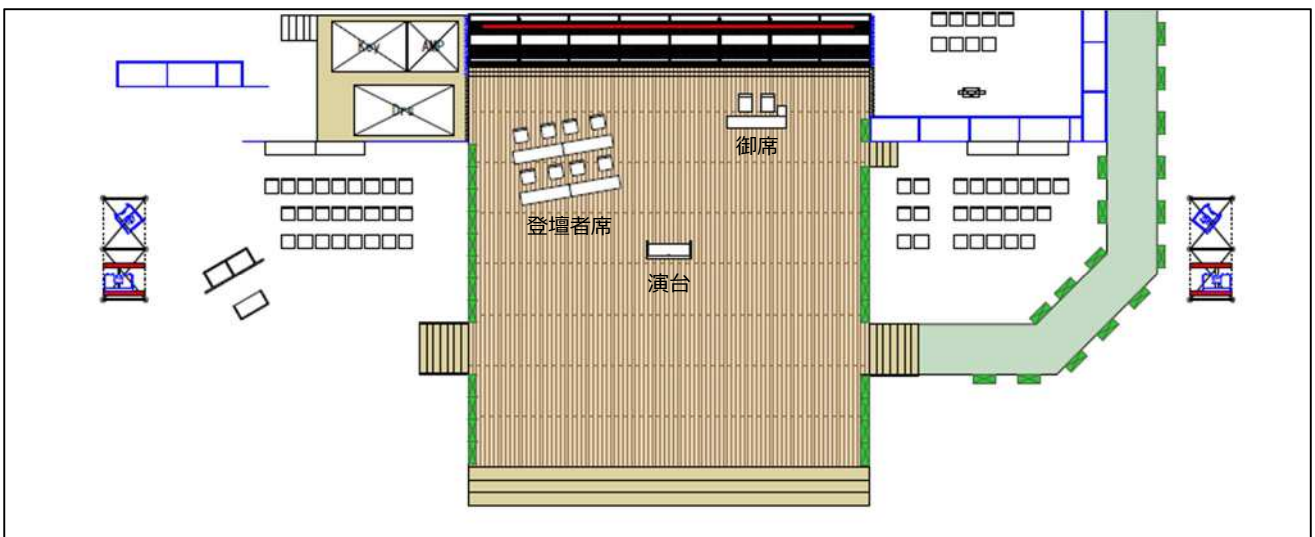
式典行事には皇族殿下をはじめ、全国から約5,000人が参加することから、会場計画は安全性を最も重視し、かつ機能的・効率的な計画とします。

- ・ 警備区域を設定し、警察機関と連携して会場への出入管理を徹底します。
- ・ 参加者の動線にプランターなどを設置してスムーズに誘導します。
- ・ 会場の特性を考慮した仮設物設置計画とします。

(4) 式典行事会場 レイアウト図



【式典所配置図】



(5) 会場装飾計画

飾花で用いるプランターには県産の花を植え、プランターカバーには県産木材を使用し、式典行事会場等を彩るとともに、参加者の安全かつ円滑な動線の確保に配慮して配置します。

また、会場のエントランス部分には、県産木材を活用して、多くの県民の「森林への想い」が詰まったウェルカムオブジェや展示物を設置します。

飾花の候補 一例



ウェルカムオブジェ展開例

七夕モニュメント

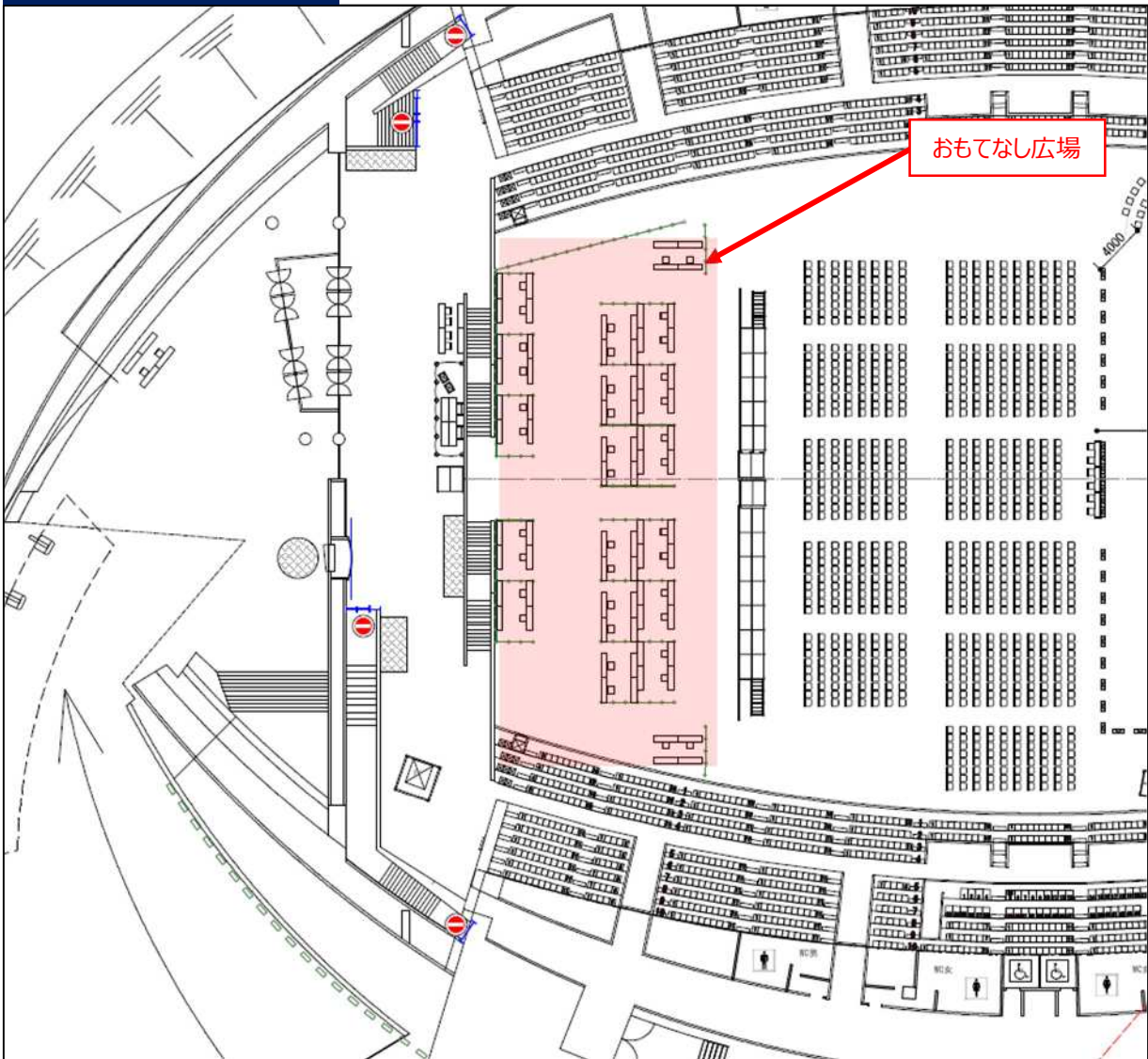


七夕の吹き流し部分へ、イベント等の参加者に書いてもらった木製メッセージシートを貼付。

5. おもてなし広場

式典行事会場の入口及び会場内に「おもてなし広場」を設置し、宮城県の森づくり活動や木材利用の取組、観光情報等の展示・紹介コーナーを設置します。

おもてなし広場展示



■ 第35回全国育樹祭・埼玉大会



■ 第47回全国育樹祭・福井大会



1. 基本的な考え方

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、緑化功労者等を招待して懇談会（歓迎レセプション）を開催します。

2. 懇談会（歓迎レセプション）の概要

(1) 開催日

令和7年10月4日（土）

(2) 会場

宮城県内ホテル（未定）

(3) 参加者

約300人

皇族殿下

大会会長（参議院議長）、農林水産大臣、林野庁長官、

(公社)国土緑化推進機構理事長、和歌山県知事、

宮城県知事、宮城県議会議長、宮城県関係者、

宮城県市町村関係者、緑化功労者等、林業・木材関係団体代表者等

(4) 内容

全国育樹祭での表彰者に祝意を表する場として開催

(5) 次第

次 第	行事概要
皇族殿下御着	先 導：宮城県知事 御出迎え：大会会長（参議院議長）、農林水産大臣、林野庁長官、 (公社)国土緑化推進機構理事長、和歌山県知事、 宮城県議会議長
開会のことば	宮城県議会議長
主催者挨拶	大会会長（参議院議長）
乾杯	宮城県知事
歓談	皇族殿下による緑化功労者等へのお声掛け、歓談
皇族殿下御発	先 導：宮城県知事 御見送り：大会会長（参議院議長）、 (公社)国土緑化推進機構理事長

■ 第47回全国育樹祭・福井大会



1. 育林交流集会

県内外の林業・木材産業の関係者や次代を担う学生など、森林・林業に高い関心を持つ人たちが参加し、森林・林業が直面する課題等をテーマに講演等を行います。

(1) 主 催

宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構

(2) 開催日

令和7年10月4日（土）

(3) 会 場

名取市文化会館
（名取市増田字柳田520）

(4) 参加者

約300人

(5) 次 第

次 第	行事概要
主催者挨拶	宮城県、（公社）国土緑化推進機構
来賓祝辞	林野庁、（一社）全国林業改良普及協会
歓迎のことば	名取市
講演等	森林・林業に造詣のある方による講演
閉会のことば	宮城県

■ 第47回全国育樹祭・福井大会



2. 全国緑の少年団活動発表大会

全国から選出された緑の少年団が一堂に集い、森林の大切さや日頃の活動の取組について発表を行います。また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行います。

【活動発表大会】

(1) 主 催

宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構

(2) 開催日

令和7年10月4日（土）

(3) 会 場

白石市文化体育活動センター ホワイトキューブ
（白石市鷹巣東2-1-1）

(4) 参加者

約300人

(5) 次 第

■第47回全国育樹祭 福井大会



次 第	行事概要
発表団入場・各団紹介	緑の少年団
主催者挨拶	宮城県、（公社）国土緑化推進機構
歓迎のことば	白石市
励ましのことば	林野庁
活動発表	緑の少年団（全国選出5団）
特別講演	次世代の自然環境や社会環境等に関する講演
講評	（公社）国土緑化推進機構
みどりの奨励賞 表彰式	緑の少年団（全国選出5団）
緑の少年団育成成功労賞 表彰式	団体・個人
閉会のことば	宮城県

【交流集会】

(1) 主 催

宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構

(2) 開催日

令和7年10月4日（土）～5日（日）

(3) 会 場

宮城県総合運動公園（グランディ・21）
リフレッシュプラザ
（宮城郡利府町菅谷字館40-1）

(4) 参加者

約150人

(5) 内 容

県内外の緑の少年団が交流を深めるためのレクリエーション等

■第47回全国育樹祭 福井大会



1. 森林・林業・環境機械展示実演会

充実する国内の森林資源の活用に欠かせない高性能林業機械や、日進月歩で技術が進み活用が期待される情報関連機器等、森林・林業・木材産業の効率化・高度化に資するメーカー等が最新技術を展示実演します。

(1) 主 催

宮城県、一般社団法人林業機械化協会

(2) 開催日

令和7年10月5日（日）、6日（月）

(3) 会 場

仙台塩釜港（石巻港区）雲雀野地区
（石巻市雲雀野町二丁目15-3外）

(4) 参加者

約20,000人

(5) 次 第

10月5日（日）

項 目	内 容
主催者挨拶	宮城県、（一社）林業機械化協会
来賓祝辞	林野庁
歓迎のことば	石巻市
テープカット	宮城県、（一社）林業機械化協会、石巻市等
閉会のことば	（一社）林業機械化協会
展示・実演	森林・林業・環境機械メーカー等による展示・実演

10月6日（月）

項 目	内 容
展示・実演	森林・林業・環境機械メーカー等による展示・実演

■ 第47回全国育樹祭・福井大会



2. その他の記念行事（開催実績）

全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや木とのふれあいを進めていくために、広く県民が参加できる記念行事を開催しました。

『昭和万葉の森』植樹祭 2024

(1) 主催

宮城県、公益社団法人宮城県緑化推進委員会

(2) 開催日

令和6年11月9日（土）

(3) 会場

昭和万葉の森
（黒川郡大衡村大衡字平林117）

(4) 参加者

442人

(5) 内容

昭和30年に県内で初めて全国植樹祭を行った会場で、昭和天皇・香淳皇后がお手植えされたアカマツ由来の苗木を利用し、県民参加型の植樹祭を実施



国民参加の森林づくりシンポジウム

(1) 主催

宮城県、公益財団法人森林文化協会、
公益社団法人国土緑化推進機構、
株式会社朝日新聞社

(2) 開催日

令和6年11月16日（土）

(3) 会場

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール
（仙台市青葉区川内40）

(4) 参加者

318人

(5) 内容

基調講演、パネルディスカッション等



宮城県みどりの少年団活動発表大会

(1) 主 催

宮城県、公益社団法人宮城県緑化推進委員会

(2) 開催日

令和 7 年 2 月 8 日（土）

(3) 会 場

白石市文化体育活動センター ホワイトキューブ
（宮城県白石市鷹巣東 2 - 1 - 1）

(4) 参加者

168 人

(5) 内 容

県内みどりの少年団による活動発表 等



1. 基本的な考え方

皇族殿下の御臨席のもと、全国から多くの参加者が集う大会であることを踏まえ、安全確保を最優先した運営を行うとともに、効率的でありながらも、必要な配慮の行き届いたきめ細かい運営を行い、誰もが安心・快適に参加できる大会を実現します。

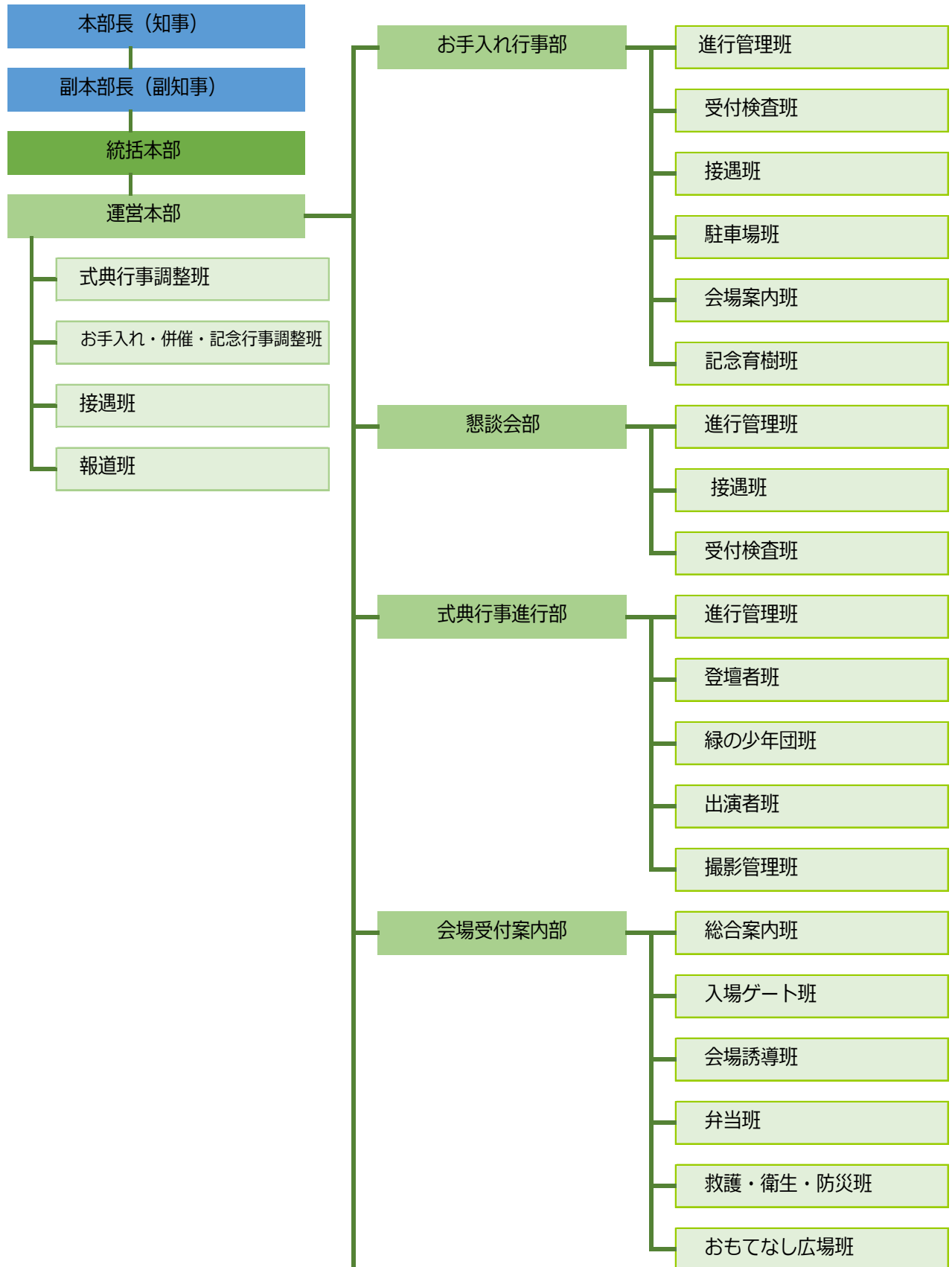
また、宮城県では次代を担う子どもたちの育成の観点から、第48回全国育樹祭のお手入れ行事や式典行事ほか主要な行事の運営に、県内のみどりの少年団が多く参加できる体制を整えます。

併せて、大会の運営に当たっては、関係する機関、団体等との緊密な連携、協力のもと、不測の事態にも速やかに対応できる体制を整備します。

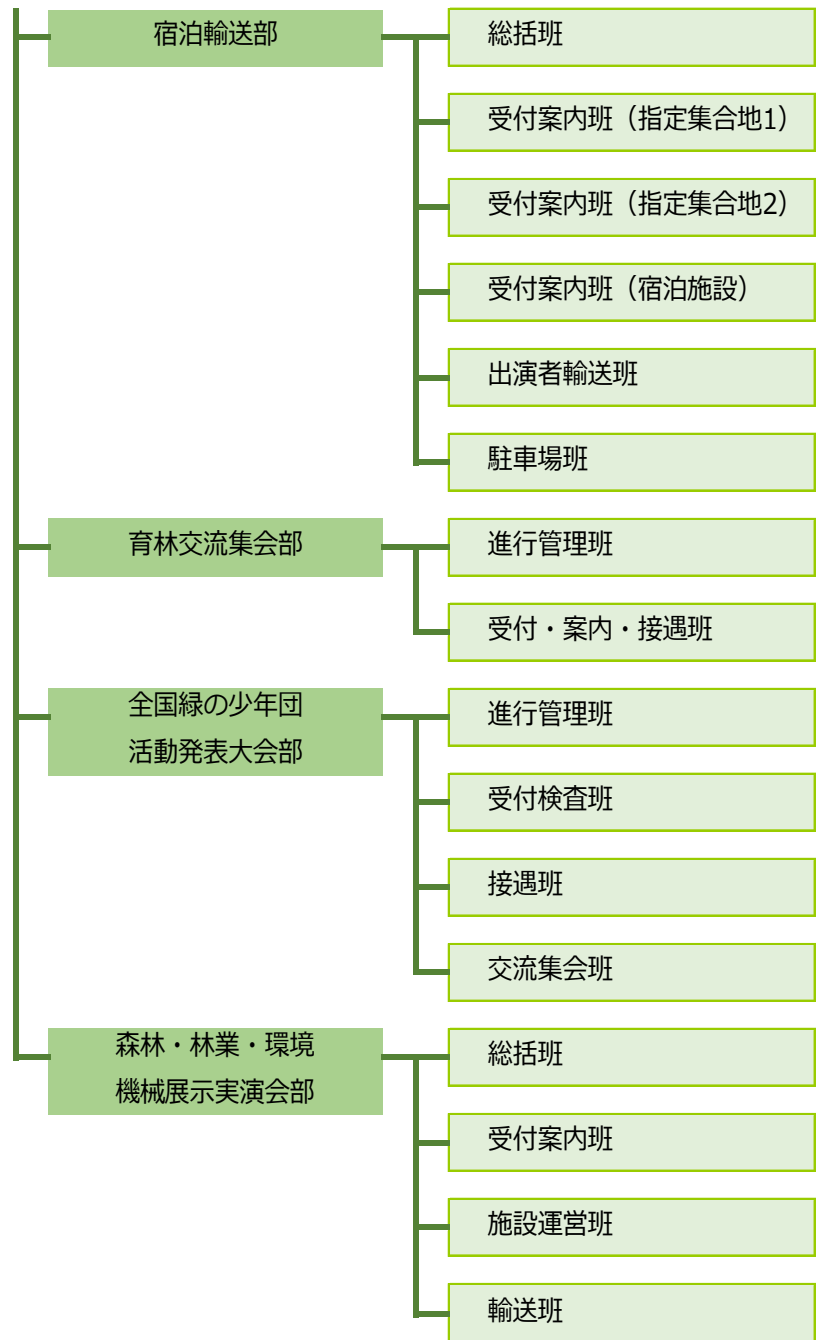
2. 実施本部設置計画

全国育樹祭の式典等を円滑に実施・運営するために、令和7年度に「第48回全国育樹祭宮城県実施本部(以下「実施本部」という。)を設置します。また、実施本部員が自らの業務内容を把握できるよう各班単位の「運営マニュアル」を作成します。

(1) 実施本部組織図 (案)



(1) 実施本部組織図 (案)



第 7 章 運 営 計 画

(2) 実施本部業務分掌 (案)

部	班	所掌事務
運営本部	式典行事調整班	式典行事・宿泊輸送の総括及び関係部との調整に関すること
	お手入れ・併催・記念行事調整班	お手入れ行事、併催・記念行事の総括及び関係部との調整に関すること
	接遇班	特別接遇者の接伴に関すること
	報道班	報道関係者の対応に関すること
お手入れ行事部	進行管理班	お手入れ行事全体の進行・出演者・道具管理、救護・消防に関すること
	受付検査班	参加者の受付・検査に関すること
	接遇班	特別接遇者・招待者の案内、誘導、弁当に関すること
	駐車場班	会場内車両誘導、安全管理に関すること
	会場案内班	会場案内、囲み取材の対応に関すること
	記念育樹班	参加者の育樹活動補助に関すること
懇談会部	進行管理班	懇談会の進行管理に関すること
	接遇班	特別招待者・緑化等功労者の誘導・控室管理に関すること
	受付検査班	参加者の受付・検査・誘導に関すること
式典行事進行部	進行管理班	ステージ上物品の配置、移動の管理、式典補助員の支援に関すること
	登壇者班	ステージ登壇者の誘導に関すること
	緑の少年団班	緑の少年団の誘導管理に関すること
	出演者班	プロローグ、メインアトラクション、エピローグの出演者誘導、式典音楽隊の行動支援に関すること
	撮影管理班	記録撮影に関すること
会場受付案内部	総合案内班	来場者からの問合せ、会場案内に関すること
	入場ゲート班	来場者の入場ゲート通過支援及び手荷物管理に関すること
	会場誘導班	式典会場内の誘導案内及びIDエリア規制に関すること
	弁当班	弁当の配布・回収に関すること
	救護・衛生・防災班	式典会場の救護・衛生・防災に関すること
	おもてなし広場班	おもてなし広場の運営に関すること

(2) 実施本部業務分掌 (案)

部	班	所掌事務
宿泊・輸送部	総括班	計画輸送バスの運行管理に関すること
	受付案内班 (指定集合地1)	指定集合地での本人確認・乗車誘導に関すること
	受付案内班 (指定集合地2)	指定集合地での本人確認・乗車誘導に関すること
	受付案内班 (宿泊施設)	指定宿泊施設での本人確認・乗車誘導に関すること
	出演者輸送班	計画輸送バスの添乗に関すること
	駐車場班	式典行事駐車場の駐車車両誘導に関すること
育林交流集会部	進行管理班	運営・進行管理に関すること
	受付・案内・接遇班	参加者の受付・案内・接遇に関すること
全国緑の少年団 活動発表大会部	進行管理班	運営・進行管理に関すること
	受付検査班	参加者の受付・検査に関すること
	接遇班	来賓・講評者等の接遇、発表団サポート、講評会に関すること
	交流集会班	交流集会、宿泊・食事、救護、輸送に関すること
森林・林業・環境機械 展示実演会部	総括班	展示実演会全体の統括、連絡調整に関すること
	受付案内班	来場者の受付・案内に関すること
	施設運営班	配置転換の対応、おもてなし広場の運営、救護に関すること
	輸送班	車両誘導及びシャトルバスに関すること

3. 参加者行動計画

10月4日(土)

お手入れ行事会場 / 歓迎レセプション会場				
区分	皇族殿下	特別待遇者	県外参加者	県内参加者
車両	御乗用自動車	ハイヤー	バス等	バス等
午前	お手入れ行事会場			
午後		会場着	会場着	会場着
		育樹活動		
	御着			
	お手入れ行事			
	御発			
		会場発	会場発	会場発
	懇談会(歓迎レセプション)会場			
		会場着	会場着	会場着
	御着			
	懇談会(歓迎レセプション)			
御発				
	会場発	会場発	会場発	

第7章 運営計画

10月5日(日)

式典行事会場				
区分	皇族殿下	特別待遇者	県外参加者	県内参加者
車両	御乗用自動車	ハイヤー	バス等	バス等
午前	式典行事会場			
		会場着	会場着	会場着
	御着	プロローグ		
	式典行事			
	御発	会場発	エピローグ	
	午後	昼食(会場内)		
		会場発	会場発	会場発

4. 受付計画

(1) お手入れ行事・式典行事

① 宿泊する参加者

行事当日に宿泊施設等にて受付を行い、行事会場に到着後、手荷物検査を行います。

② 宿泊しない参加者

県内各地に設置する指定集合地等にて受付を行い、行事会場に到着後、手荷物検査を行います。

(2) その他の行事

会場等を実施本部員等を配置し、受付・案内を行います。

参加者数に対して十分な受付ブースを用意することで、確実な本人確認やセキュリティチェックを行いながらも、スムーズに受付できる体制を構築します。

5. 警備計画

宮城県警察本部及び関係機関等との緊密な連携により、警備に不備のないようにします。

- ・ 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と緊密に連携して警備を実施します。
- ・ 会場周辺に警備員や実施本部員などを配置し、警備や車両の交通整理、参加者の誘導に当たり、雑踏事故、交通事故、その他の事件事故防止に努めます。
- ・ お手入れ行事会場や式典行事会場等の入場ゲートでは、金属探知機による持ち物検査を実施します。
- ・ 会場に仮設物等を設置し撤去するまでの間、必要に応じて夜間警備員を配置するなど無許可者の侵入やいたずらの防止を図ります。
- ・ 行事当日は、会場内における禁止事項を定め、県警本部との連携のもと、治安の維持に努めます。

6. 消防・防災計画

消防、警察その他関係機関との協力体制を築き、万一の火災、自然災害等の緊急事態に備えます。

- ・ 火災、地震等の災害が発生した場合には、参加者の安全確保を最優先とした運営を行います。
- ・ 特に危機管理については、責任者を明確にするとともに、緊急事態等の発生に備え、対応マニュアルや避難計画等を準備し、実施本部員に周知徹底します。
- ・ 実施本部が中心となり、異常の早期発見、通報に努めます。
- ・ 会場内の主要施設及び火気取扱箇所には、消火器を設置し、防火指導を徹底します。
- ・ 会場内は、喫煙所を除いて全て禁煙とし、必要に応じて消火器を設置します。
- ・ 宿泊施設については、地元消防署等関係機関の協力を得て、安全対策に万全を期します。

7. 救護・衛生計画

各会場における傷病者の救護に関する体制を整備するとともに、飲食等による事故の発生防止を図るための食品衛生対策、ごみ処理や尿処理等の環境衛生対策を取ります。

(1) 医療・救護

- ・ 行事当日及びリハーサルにおいて、傷病等の発生に備えるため、医療・救護体制を整えます。
- ・ 必要に応じて会場内に救護所を設置し、傷病者の医療・救護を行います。
- ・ 救護所には、関係機関の協力を得て、看護師及び傷病者の手当に必要な医薬品・医療器具や休憩用ベッドを用意します。
- ・ 消防署や近隣医療機関の協力を得て、緊急時の搬送体制を整えます。
- ・ 会場や宿泊施設、輸送時において、傷病等が発生した場合、素早く適切に加療にあられるよう、医療・救護対応フローを作成します。

(2) 環境衛生対策

- ・ 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- ・ 食の安全を期すため弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供団体等への指導を行い、食品衛生管理を徹底します。
- ・ 飲食等により発生する廃棄物は適切に処理を行い、会場及び周辺的环境美化に努めます。
- ・ 会場内にゴミ集積所を設置し、分別回収を行うとともに、係員による巡回清掃を行い、快適な環境づくりに努めます。
- ・ 会場内各所に設置する仮設トイレについても、巡回清掃及び確認を行い、清潔で使いやすい環境づくりを心掛けます。

8. 緊急対応計画

各行事ごとに、非常事態等に緊急対応するための体制を整備します。

9. 雨天時・荒天時対応計画

行事中止の判断基準となるガイドラインの設定のほか、荒天時等の開催可否を判断するための「判定会議（仮称）」を設置します。

（1）判定会議の開催

- ・ 荒天時等（暴風・強風等）で行事を計画どおりに実施することに懸念が生じた場合は判定会議を実施し、お手入れ行事及び式典行事等の開催を判断します。
- ・ 開催の判断は、警報・注意報の発令や交通機関の運行状況等を参考に行います。

（2）決定内容の通知について

- ・ 荒天により中止とすることが決定された場合には、関係者に直ちに通知します。
- ・ 第 48 回全国育樹祭公式ホームページ等により、情報提供を行います。

（3）雨天時のお手入れ行事の開催

雨天時のお手入れ行事については、傘の差し掛けで対応します。

（4）判断基準

行事名	天候	対応	説明
お手入れ行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		晴天時と同様に行事を開催します
	荒天	中止	屋外会場のため行事を中止します
式典行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		屋内会場のため開催します。
	荒天		台風が接近した場合等参加者の安全輸送に支障を来すおそれがある場合には、プログラムの変更や規模縮小、開催中止を状況に応じて判断します

※大規模な地震等の緊急事態が発生した場合は、大会を中止します。

1. 広報計画

(1) 広報

第 48 回全国育樹祭を広く県内外に知らせるとともに、開催への気運を高めるため、効果的な広報を積極的に行います。

- ・ 公募により決定した「大会テーマ」「大会シンボルマーク」「ポスター原画」を効果的に活用します。
- ・ 報道関係、業界紙、広報誌、インターネットなどを活用した情報発信を積極的に行います。
- ・ 各種広報物品（リーフレット、ポスター、パネル、のぼりなど）を制作し、関係機関などに配布します。

(2) 記録

第 48 回全国育樹祭の開催記録を保存するために、記録誌や映像を制作します。

2. 協賛計画

全国育樹祭の開催趣旨に賛同する企業や団体、個人を対象に、金銭や物品、広報 P R への協力等による協賛を募集します。

(1) 協賛の種類

金 銭 協 賛：大会の準備及び運営等に要する金銭の提供。

物 品 協 賛：大会の準備及び運営等に要する物品の提供。

広報 P R 協賛：大会行事の広報及び P R 活動への協力。

(2) 協賛の特典

- ① 式典行事プログラム・協賛者ボード等への掲載
- ② 記録誌への掲載
- ③ 育樹祭公式 H P への掲載
- ④ 育樹祭公式ロゴマーク、シンボルマーク、ポスターの利用
- ⑤ 式典行事への参加者枠優先確保
- ⑥ 懇談会（歓迎レセプション）への参加者枠優先確保
- ⑦ おもてなし広場での企業ブース出店枠優先確保
- ⑧ 感謝状の授与
- ⑨ 記念誌の提供
- ⑩ 記念品の授与

1. リハーサル計画（お手入れ行事）

第48回全国育樹祭の式典運営をはじめ、開催に向けての準備を整えるため、各種練習会・研修会及びリハーサルを事前に実施し、総合調整を図ります。

（1）お手入れ行事総合リハーサル

実施日：令和7年9月27日（土）

場 所：国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場

内 容：お手入れ行事全般に関わるリハーサル

（2）お手入れ行事当日リハーサル

実施日：令和7年10月4日（土）

場 所：国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場

内 容：お手入れ行事直前の通しリハーサル

2. リハーサル計画（式典行事）

（1）式典補助員研修会

実施日：令和7年夏～秋（未定）

場 所：近隣会議室等

内 容：接遇の基本所作研修及び式典の登降壇者誘導等のレクチャー

（2）メインテーマアトラクション出演者合同練習会

実施日：令和7年夏～秋（未定）

場 所：近隣会議室等

内 容：メインテーマアトラクションの合同練習（3～5回実施予定）

（3）式典行事リハーサル

実施日：令和7年9月6日（土）

場 所：宮城県総合運動公園（グランディ・21）

セキスイハイムスーパーアリーナ

内 容：式典行事に関わるリハーサル（一部アトラクションを除く）

（4）式典行事総合リハーサル

実施日：令和7年9月25日（木）

場 所：宮城県総合運動公園（グランディ・21）

セキスイハイムスーパーアリーナ

内 容：式典行事全般に関わるリハーサル

（5）式典行事前日リハーサル

実施日：令和7年10月4日（土）

場 所：宮城県総合運動公園（グランディ・21）

セキスイハイムスーパーアリーナ

内 容：式典行事全般に関わるリハーサル

3. 開催スケジュール

令和7年秋季の開催に向け、記念行事の開催や会場の整備、リハーサルの実施など、計画的に準備を進めていきます。

年度	月	大会開催計画	リハーサル等	会場関係
令和6年度	10月			お手入れ行事会場の整備等
	11月	『昭和万葉の森』植樹祭 2024		
		国民参加の森林づくりシンポジウム		
	12月			
	1月			
	2月	宮城県みどりの少年団活動発表大会		
3月	実施計画の決定・公表			
令和7年度	4月	大会実施本部設置	一般参加者の募集	仮設物の設置
	5月			
	6月		各種練習会・研修会	
	7月			
	8月			
	9月		式典行事 リハーサル お手入れ行事 及び式典行事 総合リハーサル	
	10月	10月4日 第48回全国育樹祭（お手入れ行事）	前日リハーサル	
		10月5日 第48回全国育樹祭（式典行事）		
		10月4日～6日 併催・記念行事		
	11月			
12月				
1月				
2月				
3月	記録誌の発行			

第48回全国育樹祭実施計画

令和7年●月発行

編集・発行 第48回全国育樹祭宮城県実行委員会

宮城県水産林政部全国育樹祭推進室

連絡先 022-724-7261